



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和6年8月30日

真夏日が連日続いていますが、朝夕の風が心なしか涼しく感じられるようになりました。昼間は蝉の声が聞こえていたかと思うと、夕方には鈴虫の声も聞かれるようになり、夏から秋へ季節が移り変わっていく様を感じる昨今です。

先日の台風7号の際には、レベル3「高齢者等避難」が発令され、金曜日から土曜日にかけて災害対応にご協力頂きありがとうございました。いわき市では、ここ数年の間に短時間大雨や河川の氾濫が相次いでいるため、臨時休園等いわき市独自の基準が策定されており、線状降水帯発生をふまえた災害対応に向け、早めの対応に取り組んでおります。これからまた台風10号に備え何かと心配は尽きませんが、市からの指示に従い、子どもの命を第一に考え対応して参りたいと思いますので宜しくお願いします。

先日23日には、いわき市内において「福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会いわき大会」が開催されました。当日はいわき地区開催ということで、本園職員も大会運営委員になっていたため希望保育とさせて頂きました。保護者の皆様にはご協力頂き感謝申し上げます。お陰様で、県内の保育者が一堂に会し、記念講演・分科会等で学びを深めることが出来ました。その一端をお伝えしたいと思います。私は『子ども理解』という分科会に参加しました。子どもを理解するということは、子どものやっていることをよく見ること。子どもと対話することが子どもを理解する一番の近道。子どもが、今何をしたいのか、何をして欲しいのか、よく見て、よく耳を傾ける。例えば子どもが興味を持ったことに対して、子ども自身が選択して、繰り返し集中できる環境作りが大事。「嬉しい・面白い・もっとやりたい・遊びたい」という子どもの思いが溢れている園生活を保障して行きたいと思いました。更にはその活動で満足感や達成感が味わえると自己肯定感が育まれ、前向きに生きる力が身につくということです。また、困難なことにぶつかった時、それを乗り越えて適応していくしなやかな強さがもてるレジリエンス（回復力・立ち直る力）の高い人（レジリエンスト）に育てられたら良いですね。大人になって自己内対話ができるようになった時に、『自分ってなかなか良い！』と思えるようなレジリエンストに育ててもらいたい。園でもご家庭でも幼児期から、目と目を合わせ対話する時間をしっかり持って欲しいと思います。これからの予測困難な時代を生きる子ども達にとって、生涯にわたる生きる力を育んでいくこの時期に、今、必要なのは親・保育者・周囲の大人の愛です。この度の研修大会に参加し、良い学びの機会となりました。今後とも保護者の皆様や子どもの声に耳を傾け、これからの保育に活かして行きたいと思います。